

ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時 2022年3月31日

5週間が経つ。ウクライナは戦う。

部隊の撤退vs部隊の再配置 ロシアが部隊を撤退すると主張したにも関わらず、キーウ市郊外、チェルニヒウ州への砲撃をし続けている。ウクライナ防衛省広報担当官は、ロシアがキーウ市とチェルニヒウ市の占領計画、または、少なくとも包囲する計画をやめてはいないことを確認した。ホワイトハウスも、これが部隊の撤退より部隊の再配置用の移動のようだと確かめた。それに、他の地域への大規模な攻撃も予想されるべきだと。イギリス国防大臣も地上の状況について、ロシア側のステートメントに依らず、激しい砲撃の標的がキーウ市とチェルニヒウ市になっていると述べた。イギリスのインテリジェンスによると、キーウ市郊外での激しい戦いの見込みがある。

ウクライナ・ロシア協議 次の協議ラウンドが、オンライン環境により、4月1日から続けられる予定。ゼレンスキー大統領とプーチンの会談が近い将来に行われる可能性があるとしてゼレンスキー大統領府のアドバイザー、ポドリャク・ムイハイロが話す。ポドリャク氏によれば、将来の合意の元になるポイントを説明し、明確にさせるため、ワーキンググループ上の作業が続いている。Reutersによれば、協議の結果に照らし、ドイツ首相が、ウクライナ大統領に向け、ドイツが「全体的に」ウクライナの安全保障側に立つことができると言った。軍事的要素が含まれるのかは今のところ不明のまま。

外交政策 スロバキアが許容できない活動を理由に、35人のロシア外交官を追放する。以前、3月中はすでに33人のロシア外交官が追放された。スロバキアが外交官のスパイを追放し続けている。この一か月で、100人ぐらいのロシア外交官がロシアへ追放されている。

攻撃を受けている都市 ドネツク州のマリーナ、ゲオルギエバ、ノボカリノボとオケレトナヤは砲撃を受けました。傷ついた民間人はいないですが、破壊された建物があります。ウクライナ・オンブズマンはロシア軍がマリウポリ市にある赤十字のマークがついた建物に撃たれたことを確認できました。建物は国際的に承認された負傷者や民間人の印がついていても、砲撃を受けました。キエフ州のイルピンはウクライナ軍でコントロールされていますが、また砲撃を受けています。イルピン市長は約300人の民間人が殺され、拷問、強姦、誘拐の事件が多数だと報告しています。ムィコラーイウ市長によれば、ムィコラーイウ市では、戦争開始以降、80人の民間人が殺され、450人は負傷しています。ハルキフ市では町のインフラストラクチャーの15%が破壊されています。その中1300の集合住宅、76の学校や16の病院が破壊されています。ドネツク州のマルティンカ、クラスノホリブカやノボミハイリブカは禁止された白リン弾で砲撃されました。

石油貯蔵所への攻撃が続いています。リヴネでは、二日間がたって、消防隊が結局火事を消しました。しかし、昨日砲撃を受けたドニプロとリシチャンシクの石油貯蔵所は全部破壊されています。

ロシアは自称ドネツィク/ルハンシク人民共和国とクリミアのシナリオに従い、ヘルソン市で違法国民投票の準備を始めました。ヘルソン市民はロシア占領者に抗議しています。

ウクライナ戦争の現状マップ。

人権侵害 先週、ロシア軍人によるレイプ、拷問事件の報告が増えつつある。ウクライナ保安庁が、ロシア軍人が16歳の女の子をレイプしたことを話し合う通話を傍受した。The Time 雑誌が、キーウ州から逃げた女の人のレイプについて証言を出版した。以前と同じく、誘拐事件が続いている。

医療機関 水曜日に行われたWHOの会議で発表された情報では、ロシア侵略が始まって以来、80回以上あったロシア軍による医療機関の攻撃中、およそ72人の医療機関の職員と患者が死亡、43人が負傷した。

エネルギー安全保障 Bloomberg によると、欧州連合が、ガスの値上げ原因とそれに関わるロシアのGazpromの立場を探究するため、調査を開始し、ドイツの支店では捜査を始めた。以前、G7の国は、ロシアが求めたガス購入の際、ロシアルールで支払うことを拒否した。

世論調査 最新のロシアの世論調査によると、国民の83%が大統領を支援し、71%が首相を支援し、70%が政府を支援し、59%が国家院を支援している。2月(52%)に比べて、3月(69%)は、国が正しい方向へ進んでいると思うロシア人が増えた。つれて、国が正しくない方向へ進むと思うロシア人が、2月(38%)に比べて3月(22%)は減少した。The share of those who believe that the country is moving in the wrong direction was 22% (38% in February).

参考資料

- [How Ukraine's Mykhailo Fedorov is fighting a digital war - The Washington Post](#)

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は、2022年3月31日午前6時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約17,600人、戦車614台、APV1,735台、砲兵システム311台、MLRS96台、対空・航空機戦闘システム54台、固定翼航空機135台、ヘリコプター131台、軽装甲車1,201台、軽装甲車7台、燃料タンカー75台、運用戦術レベルUAV83台、特殊装備23台。ロシア軍の損失インタラクティブカウンターは[ここ](#)です。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ウクライナ軍のために頑張っている「[NGO Come Back Alive](#)」ボランティア団体をご支援ください。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- PayPal経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます。Slava Ukraini! ウクライナに栄光あれ！